

# たか、し

<http://www.suginami-school.ed.jp/takaido4shou/>

杉並区立高井戸第四小学校

## 学力調査の結果を報告いたします

令和4年度の学力調査などの結果をお知らせします。1学期に実施した「東京都 児童の学力向上を図るための調査（3～6年生）」「杉並区 特定の課題に対する調査（6年生）」「全国学力・学習調査（6年生）」の結果をご報告いたします。それぞれの調査の個人の結果は、2学期に対象の児童に配布しております。保護者の皆さまにもお子様の学力や意識の状況を把握していただき、今後の指導にご協力いただけたらと思います。

### 1 東京都 児童の学力向上を図るための調査（3～6年生対象） (%)

(表①)【学習の動機】	3年生	4年生	5年生	6年生
分かることやできることが楽しいから。	85.6	85.9	85.4	85.4
しっかり考えられるようになりたいから。	86.6	87.3	84.0	89.6
将来の仕事や生活に役立つから。	85.6	91.5	86.7	75.0
友達や先生と学習するのが楽しいから。	84.0	80.1	84.3	73.0

  

(表②)【学習の進め方】	3年生	4年生	5年生	6年生
分からないときは、他の人や先生に質問して解決している。	74.3	76.1	73.3	73.0
自分が考えたことを、積極的に他の人や先生に伝えようとしている。	68.1	76.6	64.0	63.5
他の人と相談して、考えを深めるようにしている。	68.1	70.4	66.6	66.7

児童の学習についての状況や、学習にどのように向き合っているかなどについて、3～6年生を対象に調査が行われました。

表①は、学習動機についての質問に対して、肯定的な回答の割合をまとめたものです。多くの児童が学ぶ目的をもって前向きに日々の学習に取り組んでいることが分かります。

表②は、学習の進め方について、肯定的な回答の割合をまとめたものです。これを見ると、友達や先生と「話し合う」ことができていない児童が多いことが分かります。今年度の校内研究では、ICTを効果的に使った児童の表現力の育成を目指して授業改善を行っています。授業の中で、児童が自分の考えを伝え合ったり、話し合ったりする活動を多く取り入れながら、表現力を高めていくことができるように、指導の充実に努めています。

### 2 杉並区 特定の課題に対する調査（6年生対象） 教科別平均正答率 (%)

杉並区の子供の学力の実態をもとに、区全体で不十分な傾向がある領域に重点をおいて行った学習状況調査です。

		国語		算数	
		高四小	杉並区	高四小	杉並区
全体		80.7	74.4	67.6	63.1
評価	知識・技能	95.8	92.2	80.8	75.9
	思考・判断・表現	77.6	70.9	47.7	43.8

### 3 全国学力・学習調査（6年生対象） 教科別平均正答率 (%)

		国語			算数			理科		
		高四小	杉並区	全国	高四小	杉並区	全国	高四小	杉並区	全国
全体		80	69	65.6	77	72.1	69.8	75	65	63.3
評価	知識・技能	83.0	72.0	70.5	82.0	72.4	68.2	68.9	63.6	62.5
	思考・判断・表現	78.6	66.2	62.0	69.8	60.5	56.7	78.0	66.5	63.7

本校は、国語・算数・理科すべてで、区・全国の平均を上回りました。全国と比較し、中央値も高い値となりました。学習の仕方に関する「授業中にICTを使用している」「資料や発表内容を工夫している」「友達との話し合いで考えを深め、広げている」という項目で肯定的に答えている児童が多く見られました。ICTを効果的に活用し、友達と交流しながら、表現力を高めていく指導を、どの教科でも進めていきます。

# ◆ 各学年の傾向と課題の改善策

1学期の実態をもとに、傾向と改善点を捉えたものです。2学期以降の指導に生かしています。

		国語		算数	
	学年の傾向 ○良さ △課題	改善策	学年の傾向 ○良さ △課題	改善策	
1年	<ul style="list-style-type: none"> <li>○お話を言葉の面白さをもっている。</li> <li>○音読の力が伸びている。</li> <li>○ひらがなをほぼ習得できている。</li> <li>○鉛筆の持ち方や運筆が安定しない。</li> <li>△鉛筆の理解が十分ではない。</li> <li>△思いを文章に書くことに個人差が大きい。</li> <li>△意欲的に読書することに個人差が大きい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・早めに鉛筆の持ち方を直すことができるようにしていく。</li> <li>・書く、読むの活動の中で、助詞や句読点などを正しく使えるようにする。また、書くことへの苦手を意識をなくす。</li> <li>・読み聞かせや本を読むことの楽しさを日常的に伝えていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○意欲があり、算、ひき算の仕組を理解することができている。</li> <li>○10の合成・分解を素早くできる児童もいる。</li> <li>△「10の指を使いながらする児童もいる。」</li> <li>△「10の番号」の理解が十分ではない。</li> <li>△引き算の文章題で、立式につまずく児童がいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・具体物を使った操作やゲーム的要素の学習を取り入れ、数の概念の理解を深める。</li> <li>・既習事項を活用することのできるよう、少人数指導を生かして学習を定着させていく。</li> <li>・文章からイメージする力や自分で考える力が伸びるよう、手立てを講じる。</li> </ul>	
2年	<ul style="list-style-type: none"> <li>○お話を言葉の面白さをもっている。</li> <li>○音読の力が伸びている。</li> <li>○漢字を丁寧に、書き順を付けて書く。</li> <li>△カタカナ表記を間違える児童がいる。</li> <li>△漢字の定着に、個人差がある。</li> <li>△思いを文章に書くことに個人差が大きい。</li> <li>△意欲的に読書することに個人差が大きい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・カタカナを書きながら、表記の確認をする。</li> <li>・漢字は、小テストなどを活用しながら、繰り返し行い、定着を図る。</li> <li>・読み聞かせを多く取り入れ、おもしろい本を紹介したり、本を読むことの楽しさを日常的に伝えていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○意欲があり、算、ひき算の仕組を理解することができている。</li> <li>○10の合成・分解を素早くできる児童もいる。</li> <li>△「10の指を使いながらする児童もいる。」</li> <li>△「10の番号」の理解が十分ではない。</li> <li>△引き算の文章題で、立式につまずく児童がいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・具体物を使った操作やゲーム的要素の学習を取り入れ、数の概念の理解を深める。</li> <li>・友達との考えを聞き取り、自分の考えを表現したりする活動を多く取り入れる。</li> <li>・かけ算を、意味理解と共に確実に習得させていく。</li> </ul>	
3年	<ul style="list-style-type: none"> <li>○文章の構成を理解することができている。</li> <li>○読書活動や話し合いの意欲が高い。</li> <li>△問われた内容を理解することが難しい。</li> <li>△自分の思いを言葉で表現したり文章に書くことが難しい。</li> <li>△文章の構成や話し合いの意欲が高い。</li> <li>△問われた内容を理解することが難しい。</li> <li>△自分の思いを言葉で表現したり文章に書くことが難しい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・問題をよく読み、問われている事柄を理解できるようにしていく。</li> <li>・正対した答え方ができるようにしていく。</li> <li>・言語事項の定着を図るために、話す聞く場面でも言語を意欲的に取り組む。</li> <li>・実態に合わせて課題を用意し、自分で取り組めるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○たし算や引き算の筆算、九九の定着。</li> <li>○三角形や四角形の定義が分かったり、作図することができる。</li> <li>△問題の内容を理解できず、解決できない児童がいる。</li> <li>△基本的な問題はできるが、虫食い算や活用問題など、応用問題に対応できない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・復習を適宜取り入れながら、学習の定着を図る。</li> <li>・応用問題、活用問題にも取り組めるよう、自分の考えを表現したり、立式の意味を説明したりする時間を多く取る。</li> <li>・問題の意味を正しく理解させ、見直しをする習慣を身に付けさせる。</li> </ul>	
4年	<ul style="list-style-type: none"> <li>○文章の構成や話し合いの意欲が高い。</li> <li>○自分の考えを友達に伝えたり、友達との考えを聞き取り、自分の考えを表現したり文章に書くことが難しい。</li> <li>△問われた内容を理解することが難しい。</li> <li>△自分の思いを言葉で表現したり文章に書くことが難しい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・問題をよく読み、問われている事柄を理解できるようにしていく。</li> <li>・正対した答え方ができるようにしていく。</li> <li>・語彙力や表現のバリエーションを増やすための言語活動を組み入れていく。</li> <li>・自分の経験を取り入れた書く活動を多く取り入れていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○たし算や引き算の筆算、九九の定着。</li> <li>△問題の内容を理解できず、解決できない児童がいる。</li> <li>△わり算の筆算の定着。</li> <li>△定規や分度器などを使った作図や読み取り。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・問題の意味を正しく理解させ、見直しをする習慣を身に付けさせる。</li> <li>・復習を適宜取り入れながら、学習の定着を図る。</li> <li>・自分の考えを表現したり、立式の意味を説明したりする時間を多く取る。</li> </ul>	
5年	<ul style="list-style-type: none"> <li>○話の内容を読み取り、理由や自分の考えを表現しようとする。</li> <li>△自分の考えを、言葉や表現を選び、適切に表現することが課題である。</li> <li>△言葉のつながり、言葉の組み立てをしつかりと理解することが課題である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文章の内容理解、問いに正対した答え方、自分の思いや考えを適切に表現することについて、どの教科でも意識して取り組んでいく。</li> <li>・言語事項においては、書く、話す場面でも言語を意欲的に発問や問いかけていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○繰り返して学習を重ねた基本事項は定着が図られている。</li> <li>△基礎的な計算能力に個人差がかなりある。</li> <li>△問題の意図を的確に読み取り、解決するために既習事項を活用していく力、考えたい力に課題がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・既習事項の振り返りを適宜取り入れながら、基礎の定着を図っていく。</li> <li>・特に「量や測定」の分野に関して、他教科や日常的に触れるような取り組みをしていく。</li> <li>・課題を読み取る力、思考する力、表現する力の指導を重点的に取り入れていく。</li> </ul>	
6年	<ul style="list-style-type: none"> <li>○互いの立場や意図を明確にしながら計画を立てる。</li> <li>○登場人物や全体的な描写をもたせ、登場人物の行動や見聞を具体的に描く。</li> <li>△想像力や描写力をもたせ、登場人物の行動や見聞を具体的に描く。</li> <li>△自分の考えを、言葉や表現を選び、適切に表現することが課題である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・意見や考えをもち、自分の考えを表現することについて、どの教科でも意識して取り組んでいく。</li> <li>・高学年の児童に、言語活動をさらなる充実させる。また、友達との交流活動で、良い表現を見つけて、取り入れる力をつける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○示されたプログラムについて、指示された図形をかき直すことができる。</li> <li>△数量が変わっても割合が変わらないことを理解する力に課題がある。</li> <li>△伴って変わる2つの数量が比例の関係を求めること、未知の数量の求め方と考えを記述で説明する力に課題がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・数や量の感覚で意識的に取り入れる。</li> <li>・他教科の学習で意識的に取り入れる。</li> <li>・問題を正しく理解し、図やグラフなどを用いながら自力解決ができるようにしていく。</li> <li>・要点を押さえながら、自分の考えを表現したり立式の意味を説明したりすることができよう。</li> </ul>	